

【3月・1歳児・高月齢】

ほいくのおまもりプラス

	Aさん(高月齢／男児／活発) (2歳11カ月／4月生まれ)	Bさん(高月齢／女児／活発) (2歳10カ月／5月生まれ)	Cさん(高月齢／男児／静か) (2歳9カ月／6月生まれ)	Dさん(高月齢／女児／静か) (2歳8カ月／7月生まれ)
子どもの姿	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上着や靴の着脱の際に、「できない」と言って保育者にやってもらいたがって怒ったり、泣く姿が見られた。 2. ままごとやブロックを楽しむ中で、気の合う友だちとやり取りしたり、「かして」と言葉で思いを伝えていた。 3. 母親の出産が近くなり、登園時や午睡の前に泣いて嫌がるなど、情緒が不安定な姿が増えた。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 下痢が続いたあとはしばらくオムツを履いて過ごしたが、布パンツも履きたがり、オムツの上から履く日もあった。 2. ひな祭りのちぎり絵製作では、好きな色の折り紙を選び、ちぎって楽しんだ。 3. 体調不良が続く欠席が多く、室内で過ごしたり、午睡時間が長くなる日が多かった。 		
ねらい	<ol style="list-style-type: none"> 1. 身の回りのことを自分で行う喜びを感じる 2. 友だちとやり取りする楽しさを味わう 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 体調や気候に合わせて衣服の調整を行いながら、快適に過ごす 2. 様々な素材に触れ、感触の面白さを十分に味わう 		
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育者に手伝ってもらったり見守られながら、簡単な衣服の着脱を行う。 2. 友だちとままごとを楽しむ中で、簡単な言葉を使って思いやしてほしいことを伝えようとする。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 遊ぶ場所や気候、体調に合わせてオムツと布パンツを履き替えながら、安心して過ごす。 2. 粘土あそびや新聞紙あそびを楽しむ。 		
環境構成 配慮 援助	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本児の甘えを受け止めながら「一緒にやろうね」と伝え、安心して着脱に気持ちが向くように関わる。着脱の最初の部分は手を添えて援助し、本児の様子に合わせて、自分でできそうな部分はさりげなく手を離して見守りつつ、できた部分を大いにほめて自信につなげる。 2. 子ども同士のやり取りを見守り、必要に応じて「Aさんはこうしたいのかな」「Bさんはこうしたいんだね」と言葉を補い、双方の思いが伝わるように仲立ちする。また、保育者も一緒に遊びながら、「おいしいお弁当を作って、遠足に行こう」といったイメージが膨らむような具体的な提案をさりげなく行い、友だちと楽しさを共有できるように関わる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 体調が落ちてきたので、オムツと布パンツのどちらを履いて過ごすかについて、本児の意思を尊重しつつ、体調や気候に合わせて時にはオムツを履くことを提案するなど、柔軟に対応していく。また、朝晩と日中の気温差も出てくる時期なので、必要に応じて衣服の調整を促し、健康的に過ごせるように援助する。 2. 粘土や新聞紙に触れて楽しむ姿を見守る中で、「柔らかいね」「ちぎれたね」「小さくなったね」など、素材の感触や形が変わる面白さを言葉にして共感する。また、ままごと用の皿や鍋を用意して見立てあそびを楽しめるようにし、保育者も遊びに参加しながらイメージが膨らむように関わる。 		
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・おしゃべりに夢中で食事が進んでいないときは、「次はどれを食べようね」「先生も同じものを食べようかな」など、食事に意識が戻るような声かけを行う。 ・「見ててね」と言って自信を持って食べる姿を大いに認め、「大きなお口で食べられたね」「よくかんで食べられてかっこいいね」と伝えながら意欲を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・器に手を添えることを忘れているときは、「手で持つと食べやすいよ」とわかりやすく伝える。 ・よく噛んで食べられるように、一緒に食事を楽しむ中で保育者の口元を見せたり、「よく噛んで食べようね」と声をかける。 		
家庭との連携	<ol style="list-style-type: none"> 3. 登園時は明るい笑顔と挨拶で受け入れ、本児も保護者も安心感を持てるようにしたり、日中の様子や保育者の対応を伝え、園と家庭で連携しながら情緒の安定を図る。 ・進級に向けて2歳児の部屋に遊びに行く機会を多く持ち、その際の様子を丁寧に保護者に伝え、来年度の姿を想像しやすいようにする。 	<ol style="list-style-type: none"> 3. 登園時に機嫌や体調を聞き取るとともに、日中の様子をよく観察し、普段と変わった様子があればこまめに伝える。 ・気候に合わせて衣服の調整をしやすいように、自分で着脱しやすい服装で登園してもらうように伝える。 		
評価・反省	<ol style="list-style-type: none"> 1. 外に出たい気持ちが強く焦っているときには、「一緒に準備をしてお外に出ようね」と声をかけて寄り添うと、落ち着いて着脱に向かうことができた。引き続き、できた部分を見逃さずにほめて、自信と意欲を育てていく。 2. 一緒に遊ぶ友だちに話しかけられると応えたり、料理を作って机に並べて「できたよ！」と自ら声をかける姿も見られた。玩具の貸し借りでトラブルになる場面はまだ多いため、言葉を補いながら仲立ちする。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 体調が安定し、再び布パンツで過ごせる日が増えてきた。今後も、本児と丁寧にやり取りしながら衣服の調整ができるように援助していく。 2. 粘土あそびでは長時間集中し、ちぎったりつぶしたり丸めたりしながら感触を楽しんだ。皿や鍋などの道具を利用した見立てあそびでは、友だちと盛んに言葉のやり取りをしながら楽しめたので、必要に応じて言葉を添えながら、楽しさを共有できるように仲立ちしていく。 		

無料版：2名分
↓
有料版の
"おまもりプラス"
は12名分が
閲覧＆DL可能！

子どもの姿の1, 2は『ねらい／内容／環境構成・配慮・援助／評価・反省』、3は『家庭との連携』と連動しています。

敬称と性別表記：ウェブサイト当社方針を記載しております。

ほいくのおまもり **Plus!**

ダウンロードのお礼とおまもりプラスについて

この度は個人案をダウンロードいただき、ありがとうございます！

ほいくのおまもりプラスでは、**性別／タイプ別／月齢別の12名分の個人案（0,1,2歳児）**をご用意しています。更に・・・

- **無料版の2倍の月案文例**
- 丸1ヶ月分の月～金の全ての週案
- 毎月45個の製作型紙
- 毎月2つのスケッチブックシアター
- その他、会員だけのコンテンツ

これだけ揃って、**月額980円+税**の大特価！気になる人は、以下からおまもりプラスのサービスを確かめてみてくださいね。



文例ご利用時の注意事項

- 提供される文例は、一般的なケースを想定して作成されています。ご自身の具体的な状況やニーズに合わせて適宜修正を加えてご利用ください。
- 文例の利用によって生じたいかなる結果についても、当サービスは責任を負いかねます。自己責任においてご使用ください。
- 文例は参考としてのみご利用いただき、直接のコピー＆ペーストではなく、ご自身の言葉で表現を加えることをお勧めします。
- 法的な文書や重要な契約に関する文面は、専門家のアドバイスを受けて作成することをお勧めします。
- 文例の著作権は当サービスに帰属しています。無断での再配布や商用利用はご遠慮ください。